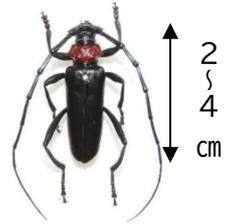


桜の木を守ろうプロジェクト 「クビアカツヤカミキリの被害防止・防除の講習会」を開催

《事業のポイント》

- ・桜の名所の立雲峡において、クビアカツヤカミキリの侵入を未然に防ぐ
- ・当該カミキリムシの特性や被害予防手法に係る講習会を開催
- ・参加者を広く募り、被害防止・防除の知識を高め、未然防止対策を強化
- ・但馬初の講習会開催（兵庫県主催）



クビアカツヤカミキリは、サクラ、ウメ、モモなど主にバラ科の樹木に発生し、枯死させる東アジア原産の特定外来生物です。クビアカツヤカミキリの幼虫は、樹木に寄生し、樹の中で2～3年かけて成長し、内部を食い荒らします。大変繁殖力が強く、平成24年に愛知県のサクラで初めて発見されて以降、次々と分布が拡大しており、被害樹木は内部が空洞化し、枯死倒木の危険があり、観光業や農業へ非常に大きな被害をもたらすおそれがあります。被害の拡大を食い止めるためには、早期発見・早期駆除が重要です。

兵庫県では、令和4年6月に、明石市で初めて成虫が発見され、その後、神戸市（R4）や芦屋市（R4）、西宮市（R5）、三田市（R6）、丹波市（R7）、丹波篠山市（R7）、宝塚市（R7）、川西市（R7）でも成虫・フラス※が発見されるなど、これまでに9市で被害が確認されています。（県外の近隣では、福知山市（R6）、綾部市（R7））

※フラス…木くずと幼虫が排出するフンが混ざったもの。根元付近で見られる。

イベント（事業）の内容

- 1 日時 令和8年3月7日（土） 13時30分から16時30分
- 2 会場 （座学）竹田地区市民会館（朝来市和田山町竹田650）
（実地）立雲峡駐車場付近（朝来市和田山町竹田）
- 3 内容 （座学）クビアカツヤカミキリに関する基礎知識等の講習
（実地）クビアカツヤカミキリ被害予防のための対策に関する実地講習
- 4 申込方法 朝来市市民課環境推進室に申込（<https://logoform.jp/form/qL8q/1382053>）
- 5 申込期限 令和8年2月27日（金）
- 6 募集人数 50人（応募者多数の場合は抽選）
- 7 その他 参加費無料 ※詳細は、別添チラシ参照



本件に関する問い合わせ
担当部署：市民生活部市民課環境推進室
電話：079-672-6120
室長 村上 泰 啓
担当 波多野 哲 哉、中 屋 晃 子

地域のシンボルを残す 桜の木を守ろう プロジェクト 始動

桜などの木に寄生して樹木内を食い荒らす「クビアカツヤカミキリ」
このカミキリムシの被害から樹木を守るためには予防的な対策が重要です。
今年度、朝来市立雲峡にて予防対策に関する講習会を実施します。

○日時

令和8年3月7日（土）13時30分～16時30分

○場所

（座学）竹田地区市民会館（朝来市和田山町竹田650）

（実地）立雲峡駐車場付近（朝来市和田山町竹田）

○募集人数

50名（応募者多数の場合は抽選）

※応募の詳細は裏面

○参加費 無料

【お問い合わせ先】

兵庫県環境部自然鳥獣共生課

TEL：078-362-3389 E_mail：shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp

朝来市市民生活部市民課環境推進室

TEL：079-672-6120 E_mail：kankyuu@city.asago.lg.jp

応募はこちらから



2月27日（金）まで

【プロジェクトについて】

○日時

令和8年3月7日（土）13時30分～16時30分

○場所

（座学）竹田地区市民会館（朝来市和田山町竹田650）

（実地）立雲峡駐車場付近（朝来市和田山町竹田）

○募集人数

50名（応募者多数の場合は抽選）

○参加費 無料

○応募方法

表面QRコードから申し込みください。

申込先：朝来市市民生活部市民課環境推進室

応募締切：令和8年2月27日（金）

※参加決定者には後日メールにて連絡します。

○実施内容

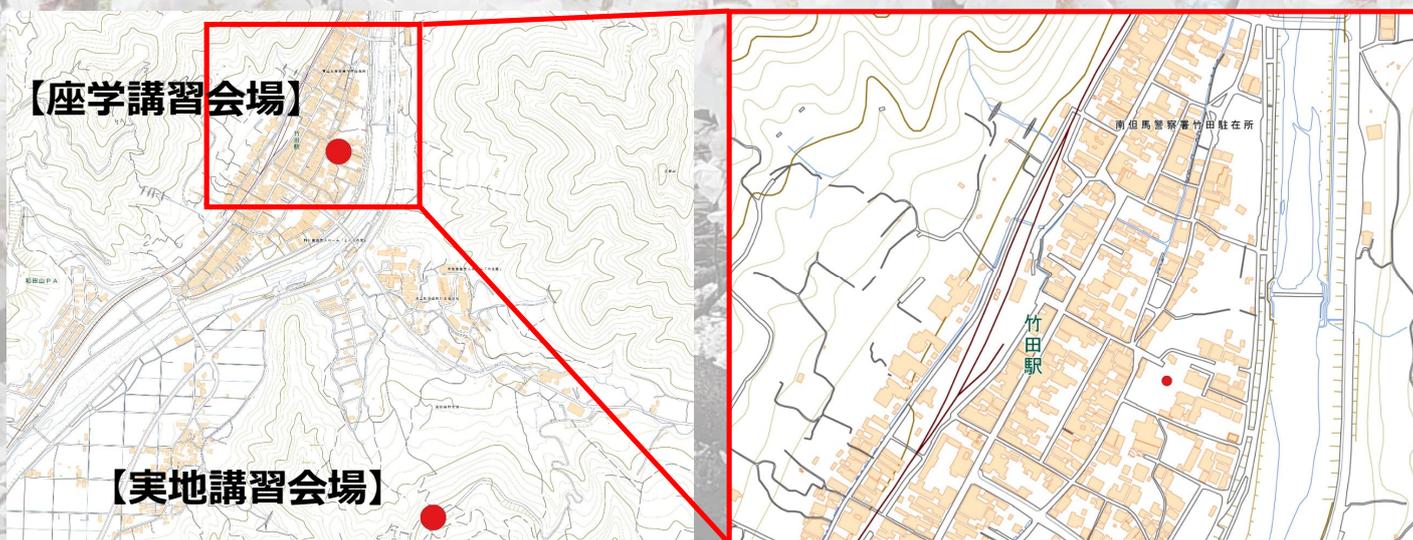
（座学）クビアカツヤカミキリに関する基礎知識等の講習

（実地）クビアカツヤカミキリ被害予防のための対策に関する実地講習

【注意事項】

- ・座学講習会場から実地講習会場までは自動車で移動します。参加にあたっては、自動車でお越しください。
- ・実地作業を実施しますので、気温に合った動きやすい服装でお越しください。

【付近見取り図】



【クビアカツヤカミキリについて】

- ・特定外来生物に指定されている東アジア原産のカミキリムシ
- ・桜、梅、桃など、バラ科の樹木に寄生し、幼虫が樹木内部を食害
- ・被害樹木は内部が空洞化し、枯死、倒木のおそれがある
- ・幼虫は樹木の根元付近にフラス※を排出
- ※木くずと幼虫のフンが混ざったもの

成虫



フラス



ひょうごの環境



サクラ・モモ・ウメ
からのSOS

クビアカツヤカミキリのフラスを 見つけて知らせてください！

とくていがいらいせいぶつ 特定外来生物クビアカツヤカミキリの幼虫はサクラやモモ、ウメの木の中に住んでいます。

幼虫は木の中を食べて、木を弱らせて枯らしてしまいます。

放っておくとクビアカツヤカミキリはたくさん卵を産んで増え、次々に木を弱らせてしまうので、

早く虫を見つけて木を守ったり、この虫が他の場所へ広がらないようにしないとけません。



じつぶつだい
実物大

せいちゆう
成虫
体長：約2～4cm
むね あか
胸が赤いのがポイント！



じつぶつだい
実物大

ようちゆう
幼虫
体長：最大約4cm
木の中を食べて進んで育つ



じつぶつだい
実物大

フラスを見つけよう！

幼虫は「フラス」という木くずと幼虫のうんちが混ざったものを、木の外にたくさん出します。

そうめん・うどんのような形をしている
※地面に落ちたり、雨風が当たる等で形がくずれていることもあります。

成虫は5～8月にしか見られませんが、フラスは一年中見ることができ、

クビアカツヤカミキリを早く見つけるための大切な手がかりです。

こんなところにあるぞ！
クビアカツヤカミキリのフラス

身近な道路や公園、学校、お家の庭などにある木に、下の写真のような木くずを見つけたら裏面でさらに詳しい見分け方をチェック！



木の根元



木の幹



樹液と一緒に

クビアカツヤカミキリのフラスかも？と思ったら！

通報用フォームへ→



通報用フォーム、メール (Shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp)、電話のいずれかで、速やかに兵庫県自然鳥獣共生課またはお住まいの自治体窓口に知らせてください！

※成虫や死体も発見した場合もお知らせください。

兵庫県自然鳥獣共生課 078-362-3389

クビアカツヤカミキリのフラス 見分け方

①フラスの形は、まん丸なボール状？



提供：(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所

いいえ

- ・そうめんやうどんのような細長い形
- ・大きなかたまり
- ・くずれて元の形が分からない

はい

スカシバガの仲間のフラス
ボールのようにまん丸な
小さなツブをたくさん出す

②崩してみると、細長い形(繊維状)の木くずが多い？



いいえ

クビアカツヤカミキリのフラス
ポテトチップスやコーンフレークのような、丸くて薄い形の木くずがたくさん見られる

はい

ほかのカミキリムシのフラス
細長く削られた木くず
がたくさん見られる

クビアカツヤカミキリのフラスかも！？

クビアカツヤカミキリはサクラ・ウメ・モモ等のバラ科の木を好みます。木の種類が分からなくても、フラスに①②の特徴があれば、お知らせください。



身近にあるサクラをチェックしてみてね

通報用フォーム、メール (Shizenchoujuu@pref.hyogo.lg.jp)、電話のいずれかで、速やかに兵庫県自然鳥獣共生課またはお住まいの自治体窓口にお知らせください！

- ・発見した日、発見した場所、どうやって発見したかをお知らせください。
- ・できれば、写真を撮ってください。(スマホでもOK！)
- ※クビアカツヤカミキリを生きたまま持ち運んではいけません。
- ・死体を見つけた場合もお知らせください。

通報用フォーム↓



クビアカツヤカミキリは、 特定外来生物に指定されています。

- 特定外来生物は、飼養(飼育)・保管、輸入、販売、譲り渡し、野外へ放つことが禁止されています。
- 外来生物法に違反すると、個人の場合は最大で 300 万円の罰金もしくは 3 年間の懲役、法人の場合は最大で 1 億円の罰金が科されます。

成虫の特徴

全体的に光沢のある黒色で、胸部(クビの部分)が赤い



体長

2.5 ~ 4 cm
頭からお尻までの長さ
(触角は含まず)

原産地は中国、朝鮮半島、ベトナム北部など。貨物などの物資にまぎれて日本に侵入したと考えられています。



成虫は 5 月末 ~ 8 月に発生します。

すぐに交尾した後、飛び回って幹や主枝の割れ目に産卵します。ふ化した幼虫は木の内部に入り込んでいきます。

木の中でさなぎから成虫になり、幹に細長い穴(脱出孔)をあけて、出てきます。



脱出孔(右上)と幼虫、フラス(下)の写真提供: 埼玉県環境科学国際センター

幼虫は樹木の内部で、2~3年かけて成長し、さなぎになります。



うどん状のフラス

大量のフラス

幼虫が入り込んだ樹木からは、うどん状のフラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)が排出されるため、目印となります。幼虫の成長が進むと、さらに大量のフラスが排出されます。

クビアカツヤカミキリは、幼虫がサクラやウメ、モモ、スモモなどの樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまう外来昆虫です。加害された木は衰弱し、やがて枯れてしまいます。2012年に日本国内で初めて発見されて以来、全国各地に次々と分布を拡大し、街路樹や果樹園で被害が出ています。

被害の拡大を食い止めるためには、見つけたら早期に駆除することが重要です。

上の写真のようなカミキリムシやフラスを見つけた場合は、土地や施設の管理者、最寄りの関係行政機関にお知らせください。

◆ 全国に飛び地的に広がっています

今後、いつ・どこの地域で見つかったもおおしくありません。

被害1

ウメやモモ等の果樹を加害し、**甚大な農業被害**をもたらします。

被害2

サクラやウメ・モモの他にも様々な樹種を食害するため、**生態系にも影響**をおよぼすおそれがあります。

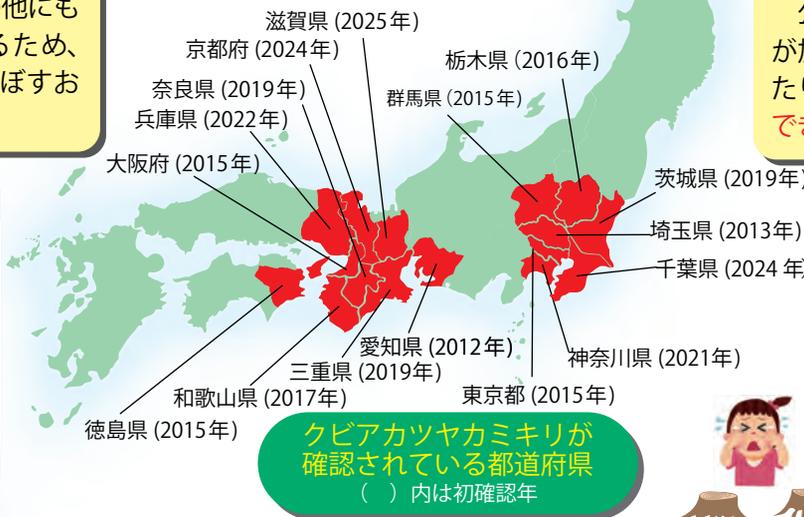
被害3

公園や街路樹などのサクラが加害されると**景観が悪化**したり、**お花見を楽しむことが**できなくなってしまいます。

幼虫に食害された樹木の内部



写真提供：埼玉県環境科学国際センター



数年後



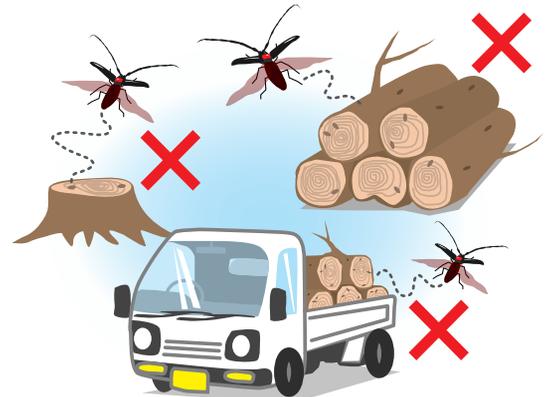
伐採されたサクラ

(上/下)写真提供：樹木医1589

食害が進むと、枝が落ちたり木が倒れたりして、人がけがをするおそれがあります。また、まん延を防ぐために薬剤を注入したり、場合によっては枯れていなくても伐採しなくてはならないこともあります。

防除・伐採時の留意点

- 伐採後も幼虫は木の中で生き続け、成虫になることができるため、**伐採した木は放置せず、速やかに焼却または粉碎**する必要があります。また、切り株は抜根するか、それが困難な場合はブルーシートやモルタルなどで被覆する処置をしてください。
- 伐採したり、枯死した木を安易に移動させると、クビアカツヤカミキリを拡散し、被害の拡大につながるおそれがあるため、**移動させる前に適切な処置をする**必要があります。
- 防除のために木にネット等を巻く場合、木とネットを密着させると食いやぶってしまうため、ある程度余裕をもたせてください。



もし、クビアカツヤカミキリを見つけたら

- ・ 下記の環境省地方環境事務所、または土地や施設の管理者、自治体窓口までご連絡ください。
- ・ 発見日時、発見場所、発見時の状況をお知らせください。
- ・ 可能であれば、写真を撮影してください。
- ・ 成虫を捕まえた場合は殺処分してください（生きたまま持ち運ぶことは違法となります）。
- ・ 死んでいる個体であっても、見つけた場合には連絡してください。

お問い合わせ

北海道地方環境事務所 011-299-1954
釧路自然環境事務所 0154-32-7500
東北地方環境事務所 022-722-2876
関東地方環境事務所 048-600-0817

信越自然環境事務所 026-231-6573
中部地方環境事務所 052-955-2139
近畿地方環境事務所 06-6881-6505
中国四国地方環境事務所 086-223-1561

四国事務所 087-811-7240
九州地方環境事務所 096-322-2413
沖縄奄美自然環境事務所 098-836-6400

環境省外来生物対策室 TEL 03-5521-8344

環境省「日本の外来種対策」
<https://www.env.go.jp/nature/intro/>

